

重点分野2 (中目標)	持続可能な経済成長										
開発課題2-1 (小目標) 民間セクター強化	【現状と課題】 ボスニア・ヘルツェゴビナでは、国家経済を下支えする民間セクターの開発が急務。なお、同国が策定した経済改革プログラムに企業活動を推進する目標は盛り込まれているが、これを受けた具体的な戦略・行動計画の策定は進んでおらず、法制度・実施体制も未整備である。また、同国経済の自立・発展のためには、交通・エネルギー等の社会インフラ整備をさらに進める必要がある。					【開発課題への対応方針】 ボスニア・ヘルツェゴビナ経済の自立・発展のためには民間セクター、特に中小企業の振興を進める必要がある。					
	協力プログラム名	案件名				スキーム	実施期間 2023年度以前 2024年度 2025年度 2026年度 2027年度 2028年度 支援額(億円) SDGs 備考				
	民間セクター開発プログラム	西バルカン地域中小企業メンター制度強化				個別専門家	3.40 8,9 複数国対象案件のため累計額を記載				
	民間セクター開発分野の研修				課題別研修他	8,9,12					
開発課題2-2 (小目標) 持続可能な開発	【現状と課題】 紛争後の復興期に緊急性の高い他セクターへの財政支出が優先された経緯があり、持続可能な社会の実現に必要な基盤整備(環境・防災、インフラ、地域開発等)への取組は遅れている分野の一つ。同分野での支援は、持続可能な経済成長の実現に必要不可欠であり、当該分野への支援のニーズは高い。					【開発課題への対応方針】 EUが進めている政策や法制度支援と協調する形で、日本の比較優位を見いだせる分野(例、大気汚染・廃棄物処理、防災等)について、各国に設置されている欧州統合担当機関との調整の上、我が国の高い技術と豊かな知見を活用し、能力構築や人材育成の支援を行っていく。					
	協力プログラム名	案件名				スキーム	実施期間 2023年度以前 2024年度 2025年度 2026年度 2027年度 2028年度 支援額(億円) SDGs 備考				
	環境・防災プログラム	国家森林火災情報システムとEco-DRRIによる災害リスク削減のための能力強化プロジェクト				技プロ	2.60 13				
		環境保全・防災分野の研修				課題別研修他	11,13				
	都市・地域開発プログラム	サラエボ県公共交通管理及び運営能力強化計画策定プロジェクト				開発計画	3.03 11,13				
		公共インフラ分野の研修(西バルカン諸国における都市公共交通管理・運営(国別研修:広域)含む)				課題別研修他	9,11				
		西バルカンにおける持続可能な観光開発				個別専門家	0.60 8,9,11 複数国対象案件のため累計額を記載				
	農業分野の研修(長期研修含む)				課題別研修他	11,13					
SDGs政策支援プログラム	SDGsグローバルリーダー(長期研修)				課題別研修他	1~17					

重点分野3 (中目標)	EU加盟プロセスの進展															
開発課題3-1 (小目標) EU加盟プロセス 進展支援	【現状と課題】 ボスニア・ヘルツェゴビナの安定的な発展は、地政学的観点からも、西バルカン地域、ひいては欧州地域全体の安定にとり極めて重要である。その観点から、EUは2022年12月にEU加盟候補国の地位を付与した。ボスニア・ヘルツェゴビナは、EU加盟に向けた取り組みを進めようとしているものの、同国の民族的、政治的対立から、環境問題を含めたEU基準の達成や経済社会改革の遅れ、外国投資の低迷、それにともなう経済発展の阻害が指摘されている。						【開発課題への対応方針】 特にEUや英米を中心に、政治社会面での改革・法的整備への支援や経済的支援がなされており、我が国も、国際社会の責任ある一員として、同国の持続可能な開発目標達成支援を含め、同国の安定と繁栄に引き続き貢献する。									
	協力プログラム名	案件名					スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
	EU加盟プロセス 進展支援プログラム	国境管理・治安維持分野の経済社会開発協力					無償	2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	15.00	16	
その他																
その他 個別の案件	案件名					スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
	スポーツ分野(柔道)の草の根文化無償資金協力					草の根文化	2023 年度 以前						0.03	3,4		

【凡例】 「協準」 (=全ての協力準備調査)、「詳細設計」 (=詳細設計)、「基礎情報調査」 (=基礎情報収集・確認調査)、「技プロ」 (=技術協力プロジェクト)、「開発計画」 (=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」,「個別機材」,「国別研修」,「課題別研修他」 (=課題別研修及び青年研修、長期研修)、「JOCV」 (=JICA海外協力隊)、「第三国専門家」,「第三国専門家」,「現地国内研修」,「科学技術」 (=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型、SATREPS)) 「草の根技協」 (=草の根技術協力)、「〇〇省技協」 (=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」 (=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「SDGs調査」 (=途上国の課題解決型ビジネス(SDGsビジネス)調査)、「無償」 (=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力) 「食糧援助」 (=食糧援助)、「一般文化」 (=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」 (=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」 (=緊急無償資金協力)、「日本NGO」 (=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」 (=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」 (=円借款、海外投融資)、「マルチ」 (=国際機関等を通じた多国間協カスキーム)、「基礎調査」 (=中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」 (=中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」 (=中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」)、「ニーズ確認調査」 (=中小企業・SDGsビジネス支援事業「ニーズ確認調査」)、「ビジネス化実証事業」 (=中小企業・SDGsビジネス支援事業「ビジネス化実証事業」)、「実線「—」」 (=実施期間)、「破線「- - -」」 (=実施予定期間) ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。

【SDGsゴールの説明】 1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」、14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」

【SDGsの詳細】 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf